

【基本施策6】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への支援と地域活性化

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
43	ホームページの開設		
事業概要	写真や動画を用いながら、東京2020オリンピック・パラリンピックに関する情報をわかりやすく紹介する。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (28年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
28年度実績等	区ホームページに東京2020オリンピック・パラリンピックに関するページを作成した。		
評価の理由	東京2020大会のページを作成したが、掲載内容は一部の取組の紹介等であり、オリンピック・パラリンピックに関する写真や動画等を取り入れた紹介までは至っていない。		
課題など	東京2020大会に向けて、各所管における取組等を集約したページの作成や、ホストシティの一自治体である区の広報戦略として区民に発信していくページ作りが必要である		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
44	オリンピック・パラリンピックに関するパネル展の実施		
事業概要	区民まつり、スポーツまつり等のイベントの際にパネル展を実施し、広く区民に情報提供及びオリンピック・パラリンピック競技大会の啓発を行う。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	①自由が丘スイーツフェスタ 700人 ②目黒区商工まつり 1,000人 ③目黒区民まつり 2,000人 ④目黒区総合庁舎パネル展 800人 ⑤めぐろスポーツまつり 500人 ⑥目黒区成人の日のつどい 150人 ⑦ティーンズフェスタ・イン・めぐろ2016 200人		
評価の理由	パネル展の開催は、多くの来場者が見込める他の事業に合わせて展示したことにより、普段、オリンピック・パラリンピックに関心を持っていない方達へのきっかけ作り、及び、興味のある方へは普及啓発を図ることができた。		
課題など	パネルの展示内容は、その時期に合わせた旬な内容のものと、継続して普及啓発してくものを効果的に取り混ぜながら、パネルを作成して展示していく必要がある。		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
45	気運醸成事業の実施		
事業概要	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた気運の醸成や目黒のまちの魅力を発信していく。</p> <p>①めぐろ10kmマラソン(仮称)大会を実施する。 <再掲 事業番号29></p> <p>②スポーツ観戦事業を実施する。 <再掲 事業番号2></p>		
計画目標	新規	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	<p>第1回目黒シティラン～健康マラソン大会～の開催</p> <p>リオデジャネイロ2016大会気運醸成事業の実施(パブリックビューイング、区ゆかりの選手への応援用横断幕・懸垂幕の掲出)</p>		
評価の理由	<p>マラソン大会の開催、リオ大会の啓発、区立体育施設でのパラリンピック競技体験等による障害者スポーツの普及、オリンピック・パラリンピアンによる教室等を実施して気運醸成に努めた。</p>		
課題など	<p>東京2020大会の開催までの各種記念イベントなど、新たな気運醸成事業を展開していく必要がある。</p>		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課 教育指導課
事業No.	事業名		
46	オリンピック・パラリンピック教育		
事業概要	<p>①東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時に、よりスポーツ観戦を楽しむため、競技種目など見所を解説する講座などを実施する。(オリンピック・パラリンピック推進課)</p> <p>②東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を踏まえ、幼児・児童・生徒がスポーツにより心身の調和的発達を遂げ、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や国際親善、障害者理解の促進、ボランティア活動など、その果たす役割を正しく理解し、我が国と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び、交流することを通じて国際理解を深めるよう、年間35時間程度を目安に全区立小・中学校(園)でオリンピック・パラリンピック教育を推進する。(教育指導課)</p>		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	<p>①オリンピック・パラリンピック推進課 区立体育施設指定管理者により、オリンピック・パラリンピアンを講師に招き、デモンストレーション及びクリニックを実施した(2回)。また、めぐろスポーツまつりにおいて、オリンピック種目であるトランポリン競技の実演と解説を行い、終了後は参加者による体験会を実施した。</p> <p>②教育指導課 ・オリンピック・パラリンピック教育推進校 全学校(園)「4×4の取組」によるオリンピック・パラリンピック教育活動の計画と実施。 ・オリンピック・パラリンピック教育重点校 2校 東根小学校(障害者理解の促進)、五本木小学校(日本人としての自覚と誇りの涵養) ・夢・未来プロジェクト 碑小学校(YOKOSOプログラム) シンクロナイズドスイミング選手 石黒由美子選手の講演・実技指導、中目黒小学校(YOKOSOプログラム) バレーボール選手 杉山幸子選手の講演・実技指導、東山小学校(YOKOSOプログラム) 車椅子バスケットボール選手 土子大輔選手の講演・実技指導、鷹番小学校(Welcomプログラム) マラソン選手 エリック・ワイナイナ選手の講演・実技指導、東根小学校(自分にチャレンジプログラム) 車椅子バスケットボール選手 京谷和幸選手の講演・実技。 ・指導世界ともだちプロジェクト 全校(園) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加予定国・地域について学び、その中から特定の国・地域の外国人との交流。</p>		
効果または評価の理由	<p>①各種事業には、未来を担う子ども達の情操教育の面からも、目前でのトップアスリートの実技の体感や取り組み姿勢などを学ぶ機会が得られたことは大きな効果があったと考えられる。</p> <p>②28年度の全校(園)オリンピック・パラリンピック教育推進校の実施に向けて、26、27年度の先行的な取組が手本となった。オリンピック・パラリンピック教育重点校の実施報告書によると、アンケート調査結果オリンピック・パラリンピックに対する興味と日本の伝統文化の良さへの気付きが高まったことが分かった(五本木小学校)。また、障害者理解に対する多様な考え方もつよくなったことも分かった(東根小学校)。</p>		
課題など	<p>①オリンピック・パラリンピックの競技だけではなく、国際社会として成熟していくためにも、障害者への理解や多文化共生等も東京2020大会を機会として捉え、これまで以上に重点的に取組む必要がある。</p> <p>②オリンピック・パラリンピック教育を推進していくための指導にあたる教員のオリンピック・パラリンピック教育も関する理解が不十分であった。そのため、指導計画を立てる上でも、子どもの発達段階に合わせて、何をどのように学ばせるのが難しい状況であった。</p>		

		所属名	文化・交流課
事業No.	事業名		
47	海外友好都市や区内大使館等との交流事業		
事業概要	目黒区と海外友好都市や区内大使館等が住民・自治体レベルで積極的に友好交流事業を推進することにより、相互理解を図るとともに、両都市間の友好親善や協力関係の増進につなげる。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B: 計画目標を達成した
28年度実績等	①平成28年7月に、中華人民共和国北京市東城区において、本区、東城区及び韓国ソウル特別市中浪区の三区間で実務者協議を行い、29年度にスポーツ交流事業を行うこととした。 ②大使館関連スポーツ事業の支援(1事業) ③目黒シティランへの大使館の協力		
評価の理由	新たに始めたシティランにおける区内大使館の協力とともに、中国東城区及び韓国中浪区との三区間スポーツ交流事業という大きなイベントを継続的に進めていくための具体的な協議が進んだことによる。		
課題など	29年度より実施する三区間スポーツ交流事業について、文化の異なる三国間の連携・調整を的確に行い、事業の継続性を高める必要がある。		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
48	事前キャンプ地誘致		
事業概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、事前キャンプ地として目黒区をPRし、誘致する。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (28年度末現在)	C: 計画目標を一部達成した
28年度実績等	東京都オリンピック・パラリンピック準備局が運営する、東京都内の体育施設等を紹介する事前キャンプガイドホームページに区立体育施設の情報を提供してPRを図った。		
評価の理由	目黒区は大会競技会場の指定がなく、公式練習会場は平成29年の夏頃に決定することから、その内容を反映した上で、誘致活動を展開する必要がある。現時点での積極的な誘致は難しい状況であり、体育施設の紹介で留めている。		
課題など	公式練習会場の決定に影響される部分が多いことから、会場が確定した時点で速やかに方針を決定して、PR活動を進めていく必要がある。		